

～子どもたちの未来のため、全力で教育実践等に取り組む教職員を応援しています～

# 文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

平成27年3月発行

京都市教育委員会 教職員人事課

## 京都市から熱意あふれる8名の教職員が受賞

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第9回目となる今年度は全国から830名にのぼる優秀な教職員が表彰されました。

本市においては、毎年、教科指導をはじめとする様々な分野において活躍している教職員が受賞しており、今年度も8名（小2名・中4名・高1名・総支1名）が受賞。1月19日（月）には、東京都港区のメルパルクホールで表彰式典が執り行われました。

式典では表彰状の授与が行われ、表彰状を手にした受賞者は、受賞の重みをあらためて実感するとともに、明日からの教育実践等への意欲をさらに高めていました。



表彰状伝達式

## 受賞者の皆様 ～おめでとうございます～



洛央小学校 ①  
鈴木 登美代 指導教諭



凌風小学校 ⑥  
山根 茂樹 教諭



桃山中学校 ⑥  
村田 和之 教諭



開晴中学校 ⑥  
野村 昌孝 教諭



藤森中学校 ①  
山下 道夫 教諭



東山泉中学校 ③  
河野 玲子 養護教諭



堀川高等学校 ⑥  
橋詰 忍 教諭



呉竹総合支援学校 ⑤  
木村 美江 教諭

○の付いた数字は、受賞者が活躍された主な実践分野(左記「主な選考基準」から)です。

### <主な選考基準>

(文部科学大臣裁定「教職員表彰実施要項」第3条)

- ①学習指導において、特に顕著な成果を上げた者
- ②生徒指導、進路指導等において、特に顕著な成果を上げた者
- ③学校体育や学校保健、学校給食において、特に顕著な成果を上げた者
- ④部活動等において、特に顕著な成果を上げた者
- ⑤特別支援教育において、特に顕著な成果を上げた者
- ⑥地域との協働の推進、学校事務の機能強化など学校運営の改善において、特に顕著な成果を上げた者
- ⑦ユネスコ活動や国際交流等の分野において、特に顕著な成果を上げた者
- ⑧その他学校教育において、他の教職員の模範となるような実践を行い、特に顕著な成果を上げた者

※表彰された皆様は、以上のいずれかの分野で主に活躍されました。



御受賞おめでとうございます

表彰を受けられた皆様が、それぞれの教育課題の解決に向けて、全力で取り組み、着実に成果を上げられていることに深く敬意を表するとともに、全国をリードする本市教育の中核として活躍されていることに改めて感謝申し上げます。受賞者の方々をはじめ、各学校・園で熱意溢れる教育実践にあたっておられる先生方が今後もますます御活躍されることを御期待申し上げます。

京都市教育委員会教育長 生田 義久